

NEWS FLASH

ニュースフラッシュ

ライディングヒルズ静内で

新年恒例の初乗り会

『令和4年ライディングヒルズ初乗り会』が1月7日に同施設で行われました。午前の部には、町内の乗馬同好会や町外の愛好者など13人が参加し、太平洋の広大な景色を望みながら今年初めてのホーストレッキングを楽しみました。

午後の部では、初心者向けの体験乗馬が行われ、児童ら3人が参加し、場内で曳き馬によるポニー乗馬を体験しました。

参加した児童は「馬に乗ると目線が高く、小刻みに動いて楽しかった」と笑顔で話しました。



2学期までの学習を振り返る

冬期公設学習塾

教育委員会主催の『冬期公設学習塾』が1月11日から14日にかけてオンラインで開かれ、町内の小学3・4年生85人が参加しました。

学習塾では、教育委員会指導主事が講師を務め、オンライン学習ソフトを使い公民館から国語と算数の問題を

出題し、児童らは自宅や静内小・三石小学校からタブレット端末を使って解答しました。

両小学校では、児童らに寄り添いながら学習をサポートする学習支援ボランティアなども協力し、2学期までの振り返り学習に取り組みました。



あいおいニッセイ同和損保と

地方創生に関する協定を締結

町とあいおいニッセイ同和損害保険(株)北海道支店(神戸忠男支店長)による『地方創生に関する包括連携協定書締結式』が1月25日に役場静内庁舎で行われました。

協定では、ESD(エスディ)・SDGs(エスディエス)・脱炭素の取り組み推進、地域・暮らしの安心・安全、防災や災害対策に関することなど7項目について連携しました。

神戸支店長は「防災・減災をはじめ、これまでに積み重ねた知識・情報などを提供し、不安なく安心して過ごせるまちづくりに貢献したい」と話しました。



白寿祝い

楠野マサさん(99)

楠野マサさんが1月20日に白寿を迎え、入所先の小規模多機能型居宅介護棟で町から祝い状、社会福祉協議会から記念品が贈呈されました。

楠野さんは静内吉野町で生まれ、22歳で結婚し7人の子どもに恵まれました。現在は孫が11人、ひ孫が7人おり、「皆さんにお祝いをしていただきありがとうございます」と話し、家族の方は「白寿おめでとう。これからも健康でいてください」と話しました。



藤川立子さん(99)

藤川立子さんが1月23日に白寿を迎え、入所先の住宅型有料老人ホーム孝ちゃんの家で町から祝い状、社会福祉協議会から記念品が贈呈されました。

藤川さんは紋別市で生まれ、昭和18年に結婚し4人の子どもに恵まれました。その後、夫の実家がある三石へ移り、75歳まで介護の職に就き、現在は孫が11人、ひ孫が1人います。家族の方は「自分のことは自分でできるので幸せだと思います。白寿おめでとう」と話しました。



東喜恵さん(99)

東喜恵さんが1月30日に白寿を迎え、入所先の特別養護老人ホーム静寿園で町から祝い状、社会福祉協議会から記念品が贈呈されました。

東さんは伊達市で生まれ、結婚後に静内へ移り住み理容店を営んできました。3人の子どもに恵まれ、現在は孫が5人、ひ孫が7人おり、趣味である好きな歌を歌い笑顔で過ごしています。家族の方は「白寿おめでとう。これからも元気で長生きしてください」と話しました。

第一生命と健康づくりなどの

推進に関する連携協定を締結

町と第一生命保険(株)苦小牧営業支社(合田守支社長)による『健康づくり・高齢者等の見守り活動推進に関する連携協定締結式』が1月12日に役場静内庁舎で行われました。

協定では、町民の健康的な生活の実現や高齢になっても住み慣れた町でいきいきと暮らし続けられるために地域包括ケアシステムの構築の推進など7項目について連携しました。

合田支社長は「疾病の予防・早期発見、健康増進など、私どもの知識を最大限に発揮して地域貢献につなげたい」と話しました。

